



桃五だより



No.593
(11月号)
2020.10.30

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

桃五スポーツフェスティバルを終えて

生活指導主幹 飯守 真一

小学校において、子供たちも大人も夢中になって取り組むことできる行事の一つに運動会があります。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため、運動会を中止せざるを得ない状況となりました。こうした中「子供たちに運動の楽しさを味わってほしい」「クラスや学年で一つの行事に向かって熱中してほしい」「行事を通して大きく成長してほしい」という願いから、本校では桃五スポーツフェスティバルを開催することとなりました。

2学期に入り、フェスティバルに向けての準備が本格的に始まりました。競技の練習を一生懸命行ったり、クラス旗を作って行事を盛り上げたりするなど、校内には子供たちの意欲的な姿がたくさんありました。

いよいよ迎えたフェスティバル当日。これまでの練習の成果を十分に発揮し、最後まで全力で走り切る姿、チームのために必死にバトンをつなぐ姿、クラス記録更新のために長縄跳びに励む姿、そしてクラスメイトを一生懸命応援する姿など、どの学年もスポーツフェスティバルへ夢中に取り組んでいる子供たちの姿であふれていました。ここで、スポーツフェスティバルを終えた6年生の感想をいくつか紹介します。

- 競技中、クラスみんなが応援していた。クラスが一つになった気がした。
- みんな、心一つにできたと思う。リレーの時の応援は特にそうだった。いい思い出になったと思う。
- 頑張れたことは、みんなで勝ち負け関係なく楽しめたことです。(中略)今回のスポーツフェスティバルではたくさんの笑顔が生まれたと私は思います。

- 場を盛り上げている人がたくさんいて、楽しくすることができた。みんな全力で頑張っていた。
- 運動会が中止になった学校も多かったと思う。だけど僕たちは代わりのスポーツフェスティバルができてよかった。小学校最後の運動会は中止になったけれど、これを乗り越えて成長していきたいと思う。
- 今年はコロナのせいで生活が一変してしまい、多くの行事がなくなってしまったけれど、その中でもこの最後の運動会(スポーツフェスティバル)をすることができてとても嬉しかった。卒業まであと少しという中で、とてもいい思い出ができたと思った。

このような感想につながったのも、子供たちが心も体も夢中になって全力で取り組んだからだと思います。スポーツフェスティバルを通して、子供たちは大きな達成感を味わうとともに、心も体も大きく成長しました。今回の経験を日々の学習や生活、行事に夢中になって取り組むことにつなげていってほしいと思います。

最後になりましたが、平日にもかかわらず多くの保護者の皆様に参観いただき、たくさん応援していただきました。本当にありがとうございました。今年度初めて子供たちの実際の姿を見ていただくことができ、嬉しく思います。今後とも、本校の取り組みへのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

11月の生活指導目標

すすんで仕事に取り組もう

- ・そうじ当番や給食当番の仕事をすすんでしよう
- ・クラスの係の仕事に責任もって取り組もう
- ・自分からすすんで仕事を見つけよう
- ・みんなで協力して仕事をしよう

力を合わせた桃五スポーツフェスティバルが終わり、改めて一人一人での生活面の当たり前を当たり前にしていきましょう。まず、自分の担当する係や当番にすすんで取り組むようにしていきましょう。また、気温の低下に伴い、登校時に手をポケットに入れたり、袖の中に手を入れたりして登校している児童が見られます。手が自由に使える状態で登校しましょう。